

CASE STUDY 2

建設・土木舗装業

株式会社福実

所在地 福岡市東区美和台3丁目3-8



公式サイト



テーマ

AIで施工計画書を作成する

～建設業における書類作成の抜本的な効率化と現場代理人の負担70%削減を実現～

支援前の課題

書類作成の重い負担

現場代理人の業務の7割以上を書類作成が占めており、現場業務に集中できる時間の確保が困難だった。

資料検索の非効率

工事ごとに膨大な資料から管理基準を探し出す作業に多くの時間を費やし、経験値の差が影響していた。

AI活用の入口段階

AI活用の有用性は認識していたが、建設書類への具体的な運用手順が、不明確で導入できずにいた。

支援内容・プロセス

01

課題抽出とAI活用の方向性

施工計画書作成の負担をヒアリング。AI活用による書類作成の自動化・効率化を支援の軸に設定。

02

NotebookLM導入と試作

過去の計画書をAIに学習させ、出来形管理・品質管理の項目を自動生成するデモを実施。

03

実案件でのAI生成と調整

実際の工事案件を対象にAIで品質管理・出来形管理・写真管理項目を作成し、精度の検証と修正アドバイスを実施

04

プロンプト雛形の作成支援

誰でも同精度で出力できるように、建設用語に特化したプロンプトテンプレート化を指導。

05

外部ツール活用と運用定着

PDF結合・加工手順を共有。社内でのAI運用ルールを確立し、継続的な自走体制を構築。

支援後の成果と今後の展望

書類作成時間

▲70%

計画書作成時間（目標）

80時間
→ 24時間

労働生産性

+70%以上

施工計画書作成時間を80時間から24時間（目標）へ削減し、労働生産性70%以上の向上を見込む。今後は管理項目全般へのAI活用を拡大し、積算資料作成への挑戦と地域での差別化を目指す。